

(1) 下新宿を取り巻く環境の変化に相応した基本的考え
 平成27年度は常総市で鬼怒川の氾濫により大きな災害が発生しました。
 この地域において様々な土木工事が行われております。

- 1) 江戸川放水路の高潮対策として堤防かさ上げ工事
- 2) 外環道路建設工事
- 3) 行徳橋新設工事
- 4) 新妙典橋新設工事
- 5) 放水路の芦原環境整備工事

等、行政は様々な防災対策、道路整備工事を行っております。

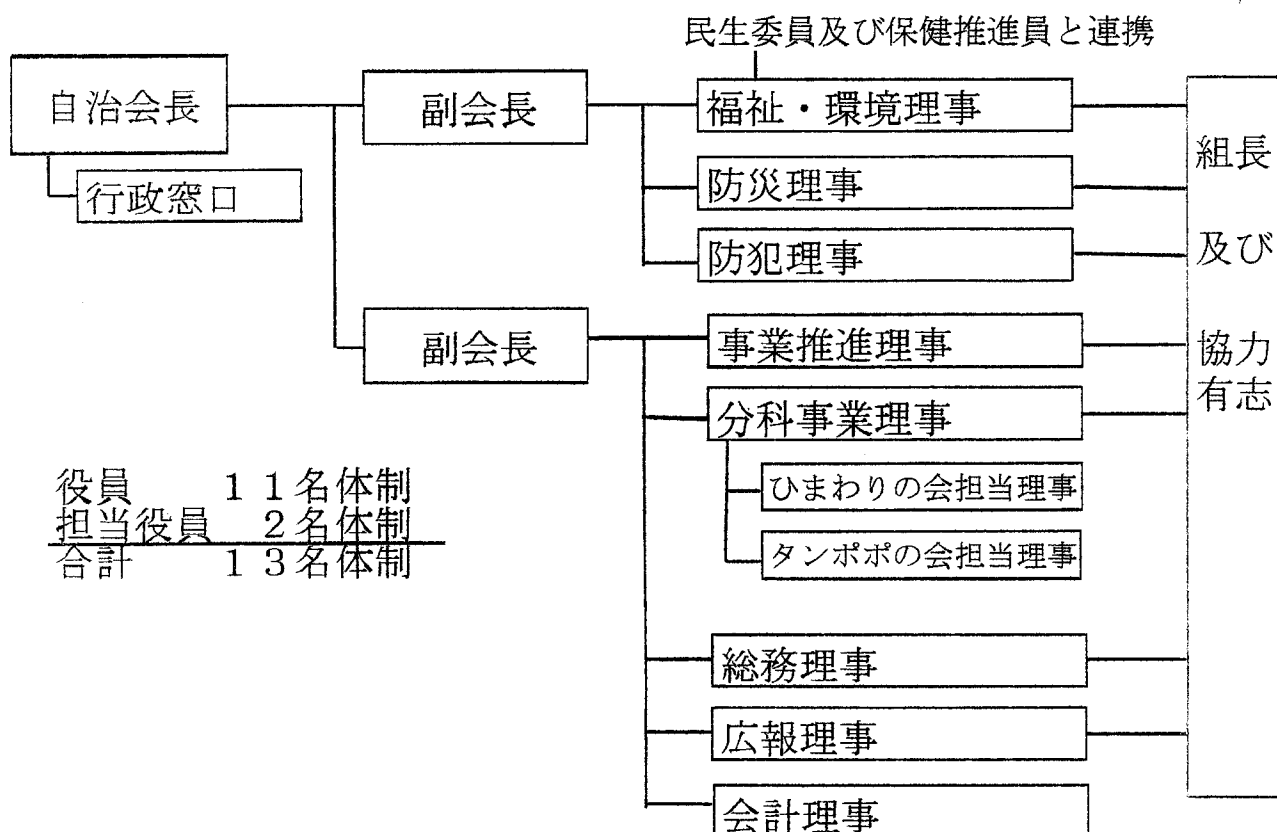
下新宿自治会としても、行政の防災対策に頼るのではなく、自らが積極的に防災に対し備えることが必要ではないでしょうか。

具体的には、

- 1) 各家庭での防災対策備品の充実と防災意識の共有化
- 2) 各種事業活動を通じ、更なる顔の見える街づくりと、「住んで良かった」と感じる温かい心のかよう環境づくり
- 3) 「ひまわりの会」の更なる発展と、本年度発足する「タンポポの会」の支援と会員の拡大

この3本の柱を中心に取り組んで参ります。

それを達成する為の組織は、



役員	11名	体制
担当役員	2名	体制
合計	13名	体制

(2) 幅広い住民参加の自治会

① 自治会活動の情報開示

総会前に議案書を全会員に配布し、自治会運営の理解をいただく。

回覧・掲示板・ホームページの更新を行い、自治会活動を公示する。

② 地域住民が自治会活動に容易に参加できることを目指す

組長さんとの定期的情報交換会（奇数月、6回／年）を継続する。

顔の見える街づくり（近所同士の連携やコミュニケーションの強化）及び“世代間の交流”を目指して、レクリエーション行事を実施する。

新入会員の募集（集合住宅を含めた地域の皆さんの自治会活動への参加促進）

気軽に子育て・介護相談できる地域窓口（行政への仲介窓口）を継続する。

③ 防災対策の強化

防災備品のさらなる整備拡充

防災マニュアルの見直しと、防災用具備品の使用方法を全自治会員が習得するための訓練を行う。新規自治会員については防災マニュアルの配布と講習会を行う。

10月に実践的な防災訓練（各家庭における防災訓練、防災組織とその役割と機能の確認、行動訓練、炊き出し訓練）を実施する。